

事業スキーム

民間の経営感覚を活かした、効率的で質の高い公園整備・管理運営を目指し、平成29年の都市公園法の改正により創設された「Park-PFI」に指定管理者制度を組み合わせた整備運営事業を実施しました。

事業者

代表構成団体	三井不動産株式会社 (認定計画提出者)
構成団体	大成建設株式会社 株式会社日建設計 岩間造園株式会社

事業手法

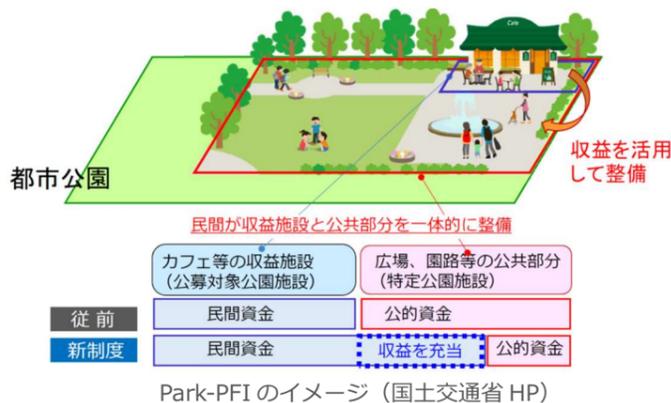
事業内容	実施主体	事業手法
飲食・物販等の収益施設 (公募対象公園施設)	整備	事業者 事業者が公園施設設置許可を受けて整備 事業者が公園施設設置許可を受けて管理運営 事業者が整備したものを市へ譲渡 (整備費の一部は収益還元により事業者負担) 事業者が指定管理者の指定を受けて管理運営
	管理運営	
園路・広場等の公園施設 (特定公園施設)	整備	
	管理運営	
		Park-PFI
		指定管理者制度

Park-PFI

飲食店、売店等の公募対象公園施設の設置又は管理と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の特定公園施設の整備、改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度です。

<特例措置>

- ◎設置管理許可期間の延伸(最長20年)
- ◎公募対象公園施設の建ぺい率の上乗せ
- ◎利便増進施設(駐輪場・看板・広告)の占用



<参考> 久屋大通の成り立ち

昭和24年(1949年) 戦災復興事業による久屋大通の整地工事が始まる	昭和29年(1954年) 日本初の集約電波塔、名古屋テレビ塔が開業(平成19年登録有形文化財に登録)	昭和45年(1970年) 久屋大通公園が都市公園として供用開始	昭和53年(1978年) 地下街(セントラルパーク)設置に伴う公園復旧工事完成
--	---	------------------------------------	--

<問い合わせ先>

名古屋市 住宅都市局 都心まちづくり課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話番号: 052-972-2746 / 電子メール: a2768@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

この事業を含む栄地区まちづくりプロジェクトは、本市ウェブサイトでご覧いただけます。

[栄地区まちづくり](#) [検索](#)

このリーフレットは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア) 整備運営事業概要



公園と店舗が一体となった日本最大級のPark-PFI事業「Hisaya-odori Park」が2020.9.18に開業

発信性と日常性を併せ持つ名古屋の新しいシンボルへ

事業の背景

久屋大通は、戦災復興事業として市民の協力を得て造られた栄地区の中心を貫く全長1.8kmの100m道路であり、都市公園、地下鉄、地下街及び地下駐車場が重層的に構築された名古屋市のシンボルの一つです。

しかし、公園の老朽化やバリアフリーの不足、憩いや賑わいの不足などの課題を抱えており、栄地区を東西に分断する要因にもなっていました。

さらに、リニア中央新幹線の開業に向けて大規模開発が進む名古屋駅地区と比較して、民間開発が低迷していたことから、栄地区の活性化が求められていました。



そこで、リニア中央新幹線の開業を見据え、栄地区のまちづくりの方針として平成25年に「栄地区グランドビジョン」を策定し、これに基づき、栄地区の活性化の起爆剤として、久屋大通の再生を進めてきました。

久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア)においては、平成29年Park-PFIを活用した整備運営事業に着手し、令和2年に開業することとなりました。

「事業対象」

北エリア	『都会の安らぎ空間』 豊富な緑を活かした落ち着いたある憩いの空間を創出し、気軽に利用できる公園を目指します。
テレビ塔エリア	『観光・交流空間』 テレビ塔のシンボル性を強化し、観光客や市民が広く交流できる公園を目指します。
南エリア	『にぎわいの空間』 大規模イベント空間の充実を図り、来訪者が集い楽しむことのできる公園を目指します。

「栄地区グランドビジョン」におけるエリア別空間イメージ

名古屋市



オアシス 21

ZONE1:学びの森ゾーン



公園内で最も大きい芝生広場では、くつろぎや憩いの空間の中で四季を満喫できる多彩な空間づくりを行います。

マーケットや様々な朝活の開催などにより、日常的に賑わいを創出します。

また、「学びの森」をテーマに掲げ、来園者の好奇心が沸き立つ店舗を設置しています。



ZONE2:アーバンリゾートの森ゾーン



小径に四季折々のアートやライトアップ演出を展開し、そぞろ歩きの楽しさを創出します。

外の気持ちよさを感じられるテラスのあるカフェや日常に彩りを添えるレストランなど、6つの個性豊かな飲食店が入ります。



ZONE3:コミュニケーションゾーン



気軽にアクティビティを楽しんだり、気軽に人と集まったり、くつろいだり、日常的にご利用いただける芝生のゾーンです。

「スポーツコミュニティ」をテーマとした店舗は、目の前の広場を活用したアウトドアイベントを行います。



ZONE4:シンボルゾーン



オアシス 21 や愛知芸術文化センターなどが位置する名古屋の文化発信力の要となるエリアにあり、国内外からの来園を促進する発信性の高いゾーンとなります。

グローバルブランド、日本限定商品を販売する店舗のほか、話題性の高い飲食店が出店し、ミスト演出を施した水盤を臨みながらのお食事もお楽しみいただけます。



ミスベ ヒロバ



全長80mの水盤には、テレビ塔が映し出され、ミスト演出も施します。

メディアヒロバ



地下街（セントラルパーク・森の地下街）と地上をつなぐ空間には、大型デジタルサイネージを設置し、イベントの開催や情報発信を行います。

整備概要

- 南北の軸上には、主要な広場を配し、その機能を促進させる施設群を両脇に配置しています。
- テレビ塔への見通しを確保しつつ、全長 80mの水盤をテレビ塔南側に設置し、シンボリックな空間を創出しています。
- 南北に連なる樹木は自然樹形のみならず、並木景観とし、久屋大通公園の景観を継承しています。
- 広々とした芝生空間や樹木が作り出す緑陰の中に、合計面積約 1 万㎡にもおよぶ広場を配置しています。
- 各施設までのバリアフリー動線を確保し、誰でもスムーズに施設へアクセスできるように整備しています。

		北エリア	テレビ塔エリア	合計
公園面積		28,700 ㎡	25,800 ㎡	54,500 ㎡
収益施設	建築面積	1,812 ㎡	3,437 ㎡	5,249 ㎡
	延床面積	2,422 ㎡	5,644 ㎡	8,066 ㎡
概要		飲食・物販・サービス等（約 35 店舗） 2 階建て（一部 1 階建て）		

管理運営概要

- 安心して憩い、くつろげる安全で快適な空間を目指します。
- 園路・広場等と収益施設を一体的に管理運営することで、賑わいと利便性を実現、防犯・防災機能の向上に寄与します。
- 魅力的な公園イベントや収益施設が演出する様々なアクティビティを通じて多彩な賑わいを創出します。

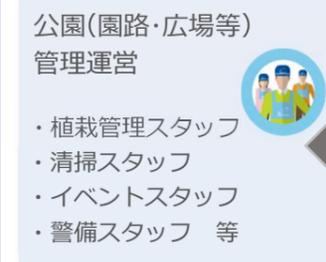
■管理運営窓口

パークセンター
電話：052-265-5575

■イベント窓口

デザインセンター
電話：052-253-7007
メール：info@rhp.nagoya

Park-PFI 事業者（三井不動産株式会社（統括））



公園スタッフ

収益施設スタッフ